宮城県国際化協

倶楽部



機関紙(隔月発行)

宮城県国際化協会

2024.2

みやぎの多文化な人 宮城県内で活躍している海外出身者をご紹介します。

宮城の頼れる インドネシア人漁師



カシワン さん インドネシア共和国西ジャワ州インドラマユ出身 第23宝進丸所属 石巻市在住 ガルーダインドネシア(サッカーチーム)選手兼監督

――来日のきっかけや来日後のことを教えてください。

私は5人兄弟の一番上で、高校生の頃には「将来は海外で働いて、家族を養いたい」と考えていました。石巻市には借金せずに技能実習生として来日できる制度があり、市役所や漁業組合の人たちがわざわざ学校まで来て募集の説明をしてくれて、信頼できると思い決めました。2009年の5月に来日し、最初は地元の方言や漁師ことばが研修で学んだ日本語と違っていて戸惑い、当時の職場の船主からの指導があまりにも厳しくて、つらい毎日でした。でも「今帰るわけにはいかない。家族が仕送りを待っている」と家族の顔を思い浮かべ頑張りました。その後、石巻漁業実習協議会が誠実に対応してくれて、別の船へ移って働くことになりました。

― 2011年3月11日に発生した東日本大震災を海上で体験したそうですね。

新しい船に移って10日目くらいに沖合でいつもと違う大きな揺れを体験し、エンジンが壊れたのかと思いました。船内のテレビでそれが地震だとわかりましたが、私たちの船は津波に遭遇しませんでした。やっと帰港できたのは2日後で、陸の変わり果てた光景に呆然としました。しばらくしてインドネシア大使館の職員が帰国支援に来て、荷物を抱えた私たちに「残りたい人は残っても良い」と言ったのです。驚きつつも「社長(船主)さんや石巻の人たちの力になりたい」と思い、迷わず残るほうを選びました。石巻市の制度を利用して来ていた技能実習生30人のうち、残ったのは私だけでした。国内・海外の人たちが支援してくれる配給の列に並び、全壊した社長宅や倉庫の片づけ、津波で失った漁具や漁網の補充準備など復旧・復興を手伝いました。半年後に漁を再開しましたが、海底はがれきが多くて通常の漁ができる状態ではありませんでした。

――その後はどうしていましたか。また現在の仕事について教えてください。

実習期間を終えた2012年に帰国して母国で漁師になりましたが、技能実習2号が出来て再び石巻で採用されました。ところが椎



母国のカシワンさん家族と宝進丸の森智朗社長(右端)

間板ヘルニアになってしまい、療養のため一時帰国した直後に新型 コロナが発生し、2022年6月にやっと戻ることができました。

今も共に震災を乗り越えた社長と、女川漁港にある第23宝進丸(19トンのトロール船、6人乗り)で近海底引き網漁をしています。昨年11~12月に多く捕れたのはヤリイカやサバでした。休漁期の7、8月と休日の土曜日以外は、午前2時20分に起床し、3時30分には出航します。網の仕掛けと引き揚げが数回あり、その都度魚の仕分けをします。そして午後4時に港へ戻り、市場へ搬入です。7時頃に帰宅し、炊事、洗濯、食事、お祈りを済ませ、インドネシアの家族とSNSで話していると10時くらいになってしまい「もうそろそろ寝るよ」と伝えて1日が終わります。

漁師の仕事は天気に影響を受けます。出航直前や漁場へ向かう途中で漁が中止になることもあります。船を出せない日は、石巻漁業実習協議会の事務所で研修中の後輩に漁具の扱い方や修理方法を教えたり、悩み事を聞いたりしています。それから事務所近くの石巻モスクで礼拝をします。

――石巻市でインドネシア人と日本人のチームがサッカーの交流試 合をしたそうですね。

石巻周辺の技能実習、特定技能の労働者は合わせて300人以上います。休日は仲間と練習場を借りてサッカーを楽しんでいます。昨年8月に石巻モスク設立者のソヨド・アブドゥル・ファッタさんから、石巻サッカー協会の日本人選手と試合をしないかと誘われました。自分たちでお金を出しあってデザインしたユニフォームがあり、チーム名「ガルーダインドネシア」(ガルーダはインドネシアを守護する神鳥)も決まっていたので、絶好のタイミングだと思いました。皆が「試合に出たい!出たい!」と言うので監督の私はメンバーを決めるのが大変でした。10月28日の試合当日は全員が「負けないぞ!」と気合十分で試合に臨み、2点目を取ってリードした時はとても盛り上がりました。残念ながら逆転負けしましたが、「また試合したい」とか「次は負けない!」と今も話しています。

「みやぎの多文化な人」の続き

一今後のことについて教えてください。

これまで漁師としてキャリアを積んできたので、これからも宝進丸でずーっと働きたいです。同じように働き続けたいと言っているインドネシア人は少なくありません。そのためには特定技能2号*の試験に合格しなければなりません。仲間の1人はあと1年で1号が終了します。船に乗っている時間が長いので、勉強に集中できないことに悩んでいる仲間もいます。それでも、社長をはじ

め石巻の漁業関係者は私たち外国人をパートナーとして大切にしてくれるので、期待に応えられるように頑張りたいです。

*2023年に在留資格「特定技能」の制度の運用に関する変更があり、「特定技能1号」漁業分野は、日本語能力試験(N3)と2号漁業技能測定試験に合格すれば、永住権や家族帯同が可能になる特定技能2号に移行できることになりました。

「みやぎ外国人相談センター」から

みやぎ外国人相談センターに寄せられた 相談事例をご紹介します



日本に来てから車を買って運転することになりました。保険について教えてく ださい。

A

車の所有者は自動車保険に加入しなければなりません。「自動車損害賠償責任保険(自賠責保険)」と「任意の自動車保険」の2種類があり、自賠責保険に加入せずに運転した場合は、理由を問わず、重い罰則が科せられます。自動車保険について詳細は、(一社)日本損害保険協会の多言語サイト「Information on staying safe in Japan」をご参照ください。

Q Information on Staying Safe in Japan

◇対応言語◇ 英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ポルトガル語、日本語

《みやぎ外国人相談センター》

9:00~17:00(月~金) TEL 022-275-9990

◆対応言語◆

日本語、英語、中国語、韓国語、 ベトナム語、ネパール語、 タガログ語、インドネシア語、 ポルトガル語、スペイン語、タイ語、 ヒンディー語、ロシア語



シリーズ 外国につながる子どもたちの支援について考える



第 11 回 外国人児童生徒サポーター 鈴木 均さん

定時制高校でがんばっているS君について

縁あって、大河原商業高校の定時制課程で外国人の高校生の支援(日本語補助)を始めてから、 もうすぐ2年になります。担当をしているのはパキスタンから移住しているご家族の長兄S君。

彼はお父さんが自動車関係の仕事をしている関係で、日中は整備や解体作業などを手伝っているとのこと。日常の日本語は特に問題なく、必要なときはお父さんを手伝って通訳をしたりするそうです。

教室でのS君はなかなかユーモアがあり、気の利いたジョークをとばすこともできます。また、日本の自動車免許を取得するなど、日常生活に不自由しない生活言語能力を身につけています。

ただ、外国人のお子さんは生活言語を身につけるのにさほど困難がないものの、学習言語の習



サポート中のSくんと鈴木さん

得が難しいとの通説通り、S君も高校の専門的な学習内容に、戸惑っていることがわかりました。特に国語科の漢文や俳句・短歌など、また社会科の地理や世界史など、全てに日本語の語彙が不足していることは明らかです。

私は支援者として、寄り添って言葉の意味や背景などを伝える役割を担っていますが、専門的な語句や抽象的な語句を伝えることが難しいと感じています。言葉の言い換えをすればするほど迷路にはまりこむようなときもあり、改めて伝えることの難しさを実感しています。それでも、ピースがかみ合うように「わかった!」と言ってもらえたときは、通じ合えた喜びを感じています。私も校種は異なりますが、定年まで教育現場にいた経験があり児童生徒に相対する喜びを経験していますので、退職後にこのような活躍の場をいただけたことをありがたいと思っています。

定時制課程にはさまざまな事情を抱えた生徒がたくさん在籍しており、学校も独自の細やかな配慮を行っています。先生方も毎回 自作教材や学習プリントを準備するなど、工夫と努力を続けていることが現場に入ってよくわかりました。もちろんS君も日中に仕事 をしてから学校に通い、言葉のハンディを抱えた生徒です。

私自身もS君の「おひさしぶりです」「おからだ大切に」「またよろしくおねがいします」に癒やされている現在です。少しでもS君の成長と広い意味での国際協力に貢献していけたらと考えています。



ライデラリー

ライブラリーのコーナーで紹介されている図書は全て貸し出しまたは当協会図書資料室で閲覧可能です。

『オンライン授業で使える日本語活動集90』著者:岡田彩 監修:坂本正 発行:コスモピア株式会社



日本語の学習でもオンラインを活用する機会が増えています。「スライドを使うだけ…」「どんなツールが使えるの」などと悩んでいる方に、90の活動例を1冊にまとめた本をご紹介します。

対面学習での活動をオンラインでも可能にするアイデアや、オンラインならではのユニークな活動も取り上げられています。「文型別活動」が50例、「短時間でできるゲーム活動」が30例、そして「説明能力をつける活動」が10例あります。また、検索のしやすさも特徴のひとつで、レベル、形態(個人/ペア/グループなど)、言語機能、使用ツール、所要時間などの項目ごとに、わかりやすいアイコンが付けられています。さらにデジタルツール(11種類)について説明があり、学習の目的に沿って使い分けができます。

倶楽部MIAで紹介する本や冊子は、以下の対象者へ貸し出しをしています。

①MIA日本語サポーター ②外国人児童生徒サポーター ③県内日本語講座に所属するボランティア日本語講師 ④外国籍児童生徒が在籍する県内小・中学校 ⑤MIA賛助会員 詳しくは、お問い合わせください。

丸森町で防災研修を開催しました



12月10日(日)に丸森町の舘矢間まちづくりセンターにおいて、丸森町との連携で外国人と日本人を対象とした防災研修を開催しました。 丸森町で防災研修を開くのは初めてのことでしたが、町内の企業で働く技能実習生などの外国人14名と、10月、11月に開催した「日本語交流サポーター」育成講座を受講した方などの日本人12名が参加し、賑やかな会となりました。

まず東日本大震災や丸森に大きな被害を与えた台風の様子を動画で視聴した後、防災・減災に関する基礎知識を多言語の資料を使って学びました。その後、町作成の「防災マップ」で外国人参加者の自宅・職場と最寄りの避難所の位置を確認。浸水が予想されるエリアに自宅がある方もいて、身近な災害のリスクを確認することができました。最後に、カードゲーム形式で、災害時に使う日本語を時折歓声を上げながら楽しく学びました。

終了後のアンケートでは、「たくさん勉強できたし、たくさん話せました」(ベトナム人参加者)「とても楽しかったです。新しい人と会えてうれしいです」(インドネシア人参加者)「ゲームを通して防災を学ぶことができて、外国人とも交流できて良かったです」(日本人参加者)といった感想が聞かれました。防災・減災について学ぶだけでなく、新たな出会いの場ともなったようです。



「神経衰弱」の要領で災害時に使う言葉を学びました。

シリーズ

多文化介護の現場から

特別養護老人ホーム ウィング

外国人留学生指導員 藤村 由香さん

担い手不足を背景に日本政府は介護現場にも外国人の受け入れを決め、宮城県内でも介護の仕事をする外国人が少しずつ増えています。本シリーズは、大郷町の介護施設の外国人留学生指導員、藤村さんに外国人とともに働く介護現場についてご紹介いただきます。

第2回

ベトナム人介護福祉士レーさんの活動

今回紹介するベトナム人のラー ティ ニャット レーさんは、当施設で働く 外国人介護福祉士の一人です。2019年に来日、施設でアルバイトをしなが ら日本語学校、介護福祉士養成校で3年間学びました。在学中に日本語能 力試験N1取得、2022年に介護福祉士国家試験にも合格しました。

現在は、短期入所を含む長期入所エリアで、4交代制で勤務しています。 介護福祉士として2年目となった今では、利用者さんと一緒に楽しむための お団子作りレクリエーションや入浴介助のスケジュール作成も任されてい ます。日本人スタッフからの信頼も厚く頼りになる存在です。また、高い日 本語力が必要とされる介護記録や報告書の作成もします。



利用者さんと介護福祉士のレーさん

「短期入所の利用者さんは1泊だけの方もいて、短時間で普段の様子を把握しなければなりません。夜勤で一人の時、帰宅願望が強い利用者さんが落ち着かなくなると、対応に困る時があります。」と大変なこともあるようですが、どんなに辛い時も、利用者さんからの感謝の言葉と笑顔が支えになっているとも話していました。

利用者さんにいつも明るく優しく寄り添うレーさんの姿は、文化や言葉の壁を越えて、高齢者を敬う気持ちは国籍関係なく、みな同じだということを教えてくれます。

参加者募集】

仙台防災未来フォーラム 2024」

(留学生・技能実習生~増加する外国人と多文化防災)

毎年3月に行われている「仙台防災未来フォーラム」に おいて、仙台観光国際協会SenTIAさんと協働で在住外 国人と防災をテーマとしたプレゼンテーション(発表)を 行います。

■日 時:2024年3月9日(土)14:45~16:15

所: 仙台国際センター展示棟 会議室 3-B

加:無料 事前申込み要(google フォーム)

Q https://mia-miyagi.jp/2024BOSAI

■登壇者:ダオ ビッ ンゴックさん

(石巻市外国人相談窓口 ベトナム語相談員)

玉澤 大助さん

(東洋国際文化アカデミー)

Q 仙台防災未来フォーラムHP

https://sendai-resilience.jp/mirai-forum2024/

MIA日本語講座だより 職場体験の中学生と一緒に勉強しました

3年間途絶えていた中高生の職場体験、課外学習が今年度から再 開し、先日は宮城教育大学附属中学校の1年生2名がいらっしゃいま した。日本語講座初級2クラスに入り、日本語学習を体験しながら会 話練習を手伝ってもらいました。おふたりに感想を聞きました。

「思っていたより日本語が上手でびっくりしました。受講生のみな さんがとてもフレンドリーでうれしかったです。](Tさん)

「ALTの先生以外 の外国人とあまり接 点がなかったので、 最初は少し緊張しま した。でも、受講生 のみなさんから話し かけてくれて、とて もうれしかったで す。] (Mさん)



日本語講座を体験中

、やぎの国際活動団体

鳴子国際交流協会 会長 板垣幸寿さん

今年度、創立30周年を迎えた鳴子国際交流協会では、記念事業のひとつとして3月3日(日)に「世 界の国旗・国歌コンサート in OSAKI]を大崎市岩出山文化会館「スコーレハウス」にて開催します。 日本の旗章学者であり、世界の国旗事情に精通している吹浦忠正さんによる国旗のお話と、200か 国近い国歌を原語で歌うソプラノ歌手の新藤昌子さんにその国に思いを寄せて国歌を歌っていた だきます。

本協会は1990年から日本とドイツの青少年が相互に行き来し、異文化を学び、国際的視野を育 てることを目的とした交流事業に力を入れ、隔年で鳴子(現、大崎市)に毎回15人ほど受け入れてき ました。コロナを経て、今年から再開することが決まり楽しみにしています。これまでの交流を経て ホームステイ受入れやドイツ訪問を体験した地元の子どもたちが成長して、現在は自分たちが受入 れの親世代となっていたり、鳴子へ移住してきた若い世代なども加わり、この民間交流をさらに発 展させようと取り組んでいます。



叶玉婵(イェ ユチャン)さん MIA外国人支援通訳サポー

AD

MIAから連絡があり、急遽その日の午後に病院に向かいました。旅先で骨折してしまい、入院 した高齢の香港人観光客でした。病院側とのコミュニケーションがうまくいっておらず、手術の 日程が全然決まらなくて、その香港人は食事ものどが通らず、一睡もできず、涙ぐんでさえいま した。患者さんだけでなく、香港にいる家族にも連絡を入れ、電話で通訳もしました。2日間にわ たって通訳しましたが、無事手術の日程も決まりました。その香港人はすっかり安心したのか、最 後にはわたしと主治医の先生と一緒に写真を撮りたいと言ってくれました。急なことでしたが、 お役に立ててわたしもうれしく思いました。



MIA外国人支援通訳サポーター研修会の様子

賛助会員募集

MIA(公財)宮城県国際化協会は、県民参加の幅広い国際交流を進め、人と 人との輪を広げていくために、皆様の御理解と御協力を求めています。

●替助会員の資格

本協会の趣旨に賛同し、運営活動に協力していただ ける個人や団体(国際活動団体、企業、機関)など

賛助会員の区分と年会費 個人会員/10 3,000円 団体会員/10 10,000円

●替助会員の特典 ◎協会機関紙 宮城県国際化協会機関紙 倶楽部MIA の定期送付(年6回)

- ○当協会主催のイベントや各種講座の案内及び参加費の減免 ◎個人会員については協会と提携する旅行会社が指定 する国内外の旅行代金の一部割引
- ◎企業会員については世界各国国旗の無償貸し出し、及び 当協会の外国人スタッフ等による国際理解出前講座の 無償提供

●入会方法

宮交観光サービス(株)

○本協会あて御連絡ください。

所定の申し込み用紙と振り込み用紙を送付いたします。





編集·発行 公益財団法人宮城県国際化協会 **T981-0914**

仙台市青葉区堤通雨宮町4番17号 宮城県仙台合同庁舎7階 TEL 022(275)3796 FAX 022(272)5063

E-mail mail@mia-miyagi.jp URL https://mia-miyagi.jp



